

## 心を読む技術の情報公開について

まず、wide 通信システムにカモフラージュした、脳波のジャミング装置を構築し、各地の情報通信局のアンテナを総合通信研究所でコントロールして、脳波の電磁波の受信を可能にし、音声、自然言語の特徴パターン抽出技術を応用して脳波の電磁波の特徴パターン分析し、心を読む技術を開発し、いったん非公開情報にして、1000人ぐらいの心を読みながら、大衆社会型情報公開論に基づいて、どう情報公開すればいいか情報通信研究所で研究し、それをカモフラージュするのに犯罪行動学部に補導研究あたりを研究させて、更にそれをカモフラージュするのに、大学教授を用いたらいいと思います。

民主主義には情報公開が必要だということ、既に、心を遠隔から読むことが可能だという技術が開発されていて、ジャミングもしているということ、これを初期条件とする。

まず、情報公開的には監視の視角が情報公開すると主体化する度合いが増すかもしれない。そこで、監視の視角が主体化する度合いを減らす何らかの社会的にいいことをしなければいけないかもしれない。まず、思いつくのは従来の刑事司法・応報的司法・懲罰的司法から修復的司法に切り替えた場合、どうなるか、監視の視角がらみで法務総合研究所あたりに研究させる。もしかしたら、度合いが減るかもしれない。直接、心を読ませて法務総合研究所あたりに研究させると、研究対象が犯罪者に限られたり、後々情報公開上のスピンの多様性が求められたとき、対処できなくなるかもしれないので、よく似た、研究分野で修復的なアプローチで研究できる、犯罪行動学部に研究させる。このとき、コミュニティとして学校やクラスメイトも参加させる。また、学校がカモフラージュになるかどうか、スピンの検証もするべきであるかもしれない。

というのが、僕の意見です。

心を読む→相手が当惑し相互秩序行為の不均衡状態になる→

感情をコントロールする言葉を使う→相手が当惑回避行動をとる→

相互秩序行為が均衡状態になる

という、研究をしてるのですか？

初期条件として、

1. 民主主義には情報公開が必要だ
2. 脳の電磁波を遠隔から情報通信局のアンテナから受信することが可能だ
3. 警察庁がジャミングもしている
4. 通信総合研究所で心を読むことが可能だ
5. 情報公開論を感情社会学の相互行為論で構築する

としたら、僕の心を読んでいる人たちの正体は誰ですか？